



あなたの健康を  
喜ぶひとがいる。



アガリクス茸  
せんせいろう  
仙生露

商品に関するご質問は、  
仙生露取扱店もしくは、  
下記フリーダイヤルまで

☎ 0120-680-111  
(平日9:00~17:00 ※土・日・祝日除く)

🌐 www.s-s-i.jp

【総販売元】株式会社S・S・I  
東京都中央区日本橋大伝馬町2-5 石倉ビル3F

## アガリクス茸仙生露の核心

# 「ABMK低分子抽出物」とは何か

仙生露の独自成分「ABMK低分子抽出物」が発見された経緯、どのような健康効果が期待できるのかを、発見者の太田富久先生にうかがいました。

株式会社S・S・I  
代表取締役

竹口 雅之

金沢大学名誉教授

太田 富久

### 「効き目の」を探していた

竹口 長年に渡りアガリクス茸仙生露（せんせいろう）の研究をお願いしているのですが、研究を開始した頃はどのような感じだったのですか？

太田（敬称略） 東北大学の頃から、きのこの成分研究をしていたんです。簡単に言うと、健康づくりや治療の役に立つようなきのこを探していました。あまり知られていない、人が食べないようなきのこや、毒きのこなんかも研究していました。

そんな時に御社から「研究報告の多いきのこがあるの調べて欲しい」ということで持ち込まれたのが、仙生露（せんせいろう）の原料アガリクス茸でした。

竹口 口コミで仙生露が広まり出した頃ですね。それまでも、既にたくさんきのこを研究されていたと思うのですが、このアガリクス茸と同じようなきのこは無かったですか？

太田 似たようなのは、キシリトールというきのこがありました。実はどこにも生えているようなきのこののですが、主な成分はβグルカンになります。

βグルカンが入っているきのこは多々、

他にも数種類のきのこの情報は得ていたのですが、どれも弱々しい。

βグルカン以外に、何か目新しい成分はないものかと探していたところ、アガリクス茸が持ち込まれたのです。

竹口 そうだったんですね。当時は、とにかくすごいスピードであらゆる研究をやっていた記憶があるのですが、大変だったのではないですか。

太田 大変と言えば大変でした（笑）。ただ、それよりもアガリクス茸への興味が上がっていましたので、御社の社員さんらに手伝わっていただきながら、朝から晩までずっとやっていましたね。

### 仙生露のアガリクス茸から

#### 「ABMK122」を発見

※ABMK低分子抽出物

竹口 そしてそのご研究の賜物として、アガリクス茸から大事なものが見つかりました。「ABMK122（ABMK低分子抽出物）」です。

太田 そうですね。アガリクス茸を調べたところ、やはり高分子のβグルカンが多く含まれていましたので、当初は他のきのこと同じようなものかなと思っていました。

裏面に続く





ところが、この仙生露のアガリクス茸を分画（成分を一つ一つ分けていくこと）していくと、高分子と低分子に分かれるのですが、どうも「低分子成分の方が活性が強いぞ」となったのです。研究を進めていくと、その低分子成分は、ペプチドが付いたβグルカンであることがわかりました。

**竹口** それ「ABMK-22」ですね。

**太田** そうです。生体内での反応がかなり強く出ました。受容体への親和性が高いのかも知れません。後に、このアガリクス茸から「システィー」が見つかるわけですが、あれもペプチドですね。

**竹口** 低分子成分というのは、他社のアガリクス茸製品ではあまり聞かれないものですね。

**太田** そうですね。分子量が6000以下のもはあまり聞いたことがありません。分子量10万以上のβグルカンは、わりと多くのきのこに入っていて、よそのアガリクス茸にも入っていますから、宣伝文句として使いやすいのかも知れません。

それで、うちのこのアガリクス茸からは、ペプチドがついたβグルカンが見



つけたのですが、それに興味を持って徹底的に研究を進めていくと、マウスで凄い試験結果が出たわけですね。

**竹口** あの時確か、「ABMK-22」だけではなく、「ABMK-11」なども試験していたと思うのですが、あまり良くなかったのですか。

**太田** 良くなかったというより、「ABMK-22」の方がはるかに活性が強かったという感じです。

実はこの仙生露の原料アガリクス茸には、他にもいくつか低分子画が見つっていますが、その中でも分子量7000~80000の「ABMK-22」が最も強力なのです。高分子成分も試験はしたのですが、せいぜい50~600%の活性でした。「ABMK-22」が70~800%ですから、比べるとやはり弱いのです。

**竹口** どれくらいの期間飲んだ方がよいですか。

**太田** だいたい3~4カ月毎日飲んで様子を見てもらいたいのです。これは「腸活」に限りません。健康な方が飲むと良さを感じにくいのですが、疲れにくくなり、以前よりも活動的になったりするので、微妙な体の変化を意識しながら飲んでもらいたいです。体が弱っている方が仙生露を飲むと、食欲が出てきて元気になる、とよく言われます。

### アガリクス茸仙生露は治療中の方の利益が科学的に立証されている

**竹口** 病気の治療などで体が弱っている方にはどうでしょうか。

**太田** 病気そのものの治療には薬が重要な役割を果たしますが、それで体がかなり弱ってしまうこともあります。ですから、薬ばかりに頼るのではなく、アガリクス茸仙生露のような食品で栄養を摂るのは大事なことですね。結果的に治療のサポートになる可能性がります。個人差はありますが、食欲が出てきて体が元気になり、医薬や療法による治療を、継続して行えるようになることが理想と言えます。

**竹口** 仙生露は2年間という長期の毒性試験を実施して安全を確認していますから、仙生露を利用するということが、少なくとも治療の害になることではないと思います。

**太田** そうですね。大事な安全性がしっかり確認されています。あと、厚生労働省のがん研究助成金により、金沢大学病院と四国がんセンターで実施したヒト臨床試験もありですね。あれは、70名近くの患者さんがQOL(生活の質)を改善したという、まさに病気を治療している方が仙生露の良さを体感された、という試験でした。栄養補助というとなんだか安っぽく聞こえてしまうのですが、アガリクス茸仙生露は、お薬によって弱ってしまった体を元気にするための補完効果が素晴らしいのだと思っています。

### アガリクス茸仙生露の科学的試験実施機関

金沢大学、米国立がん研究所 (NCI)、京都産業大学、京都府立医大、陳瑞東クリニック、戸田中央総合病院、福岡大学、北九州市立医療センター、大阪府立成人病センター、京都大学、横浜サトウクリニック、東京医大、札幌生体システムクリニック、総合医学研究所、ハーバード大学、東邦大学大森病院、富士バイオテックス、協和発酵、韓国科学技術省、京都薬科大学、大阪大学医学部付属病院、北海道大学、動物MEリサーチセンター、日本獣医畜産大学など

このことがわかった後、協和発酵さんが研究費をたくさん寄付してくれたことを覚えています。

### 今話題の「腸活」でも威力を発揮するアガリクス茸

**竹口** 様々なきのこを研究されてきた太田先生にとっても、この仙生露のアガリクス茸は特別な存在なのでしょう。

**太田** こんなアガリクス茸は他にないと思っていますよ。「ABMK-22」は国際特許も取っていて、他のきのこにもアガリクス茸にも確認されていない成分です。もっと広く利用されて欲しいと願っています。

### アガリクス茸仙生露は国際特許を取得しています



日本：特許第 4823519 号他、韓国：特許第 10-1035262 米国：特許第 7611715 号



### 私は毎日飲んでいきます

**竹口** ところで太田先生は今もアガリクス茸仙生露を飲んでおられますか。

**太田** 毎日飲んでますよ。時々料理にも使うことがあるのですが、あのアガリクス茸特有のうまみは、味噌汁や煮物のお出汁として利用することも美味くなるんです。これは贅沢な使い方と言えますが、もしきのご特有の匂いが苦手だという方には、試していただきたいです。

**竹口** 以前、生アガリクス茸から土瓶蒸しや天ぷらを作ってもらったことがあるのですが、たしかに旨味が強くて、個人的には松茸よりも美味しいと思いました。

**太田** しかし、やはりこのアガリクス茸仙生露は、健康づくりのためにご利用

**竹口** ありがとうございます。ところで、「ABMK-22」の他に、何かこのアガリクス茸や仙生露の特徴はありますか。

**太田** 今、免疫力と腸の関係が注目されて「腸活」が人気になっていますが、まさに「腸活」用の食品としてアガリクス茸仙生露はおすすりです。

このアガリクス茸に含まれる、糖アルコールの影響だと思うのですが、大腸に対する作用がすごく強いのです。大腸を活性化させることによって、短鎖脂肪酸が関係して脳の動きを良くすることも言われます。「腸活」は健康を維持するのに合理的な方法だと思っています。

**竹口** 現代は人生百年時代と言われるし、脳の健康について心配されている方も多いと思います。「腸活」の「環」として、ぜひ仙生露を活用いただきたいですね。ところで「腸活」のためには、どれくらいの量を飲んだらよいのでしょうか。

**太田** そんなに大量に飲まなくてもよいと思います。ただし、他の食べ物と一緒に摂るのではなくて、食前に1袋(2包)飲むをおすすめします。空腹時に摂るのもよいですね。

用していただきたいですね。あととあらゆるきのこを調べてきましたけれど、この仙生露の原料アガリクス茸ほどピタミンやミネラルが豊富なものはありませんし、「ABMK-22」という特有の低分子成分も含まれているのですから。

**竹口** そうですね。より多くの方に仙生露の良さを伝えるために、今後も努力してまいります。ありがとうございます。

### Profile

太田 富久 (おたとみひさ)

金沢大学名誉教授。薬学博士。東北大学医学部薬学卒業後、東北大学薬学部助教授、金沢大学薬学部教授などを歴任。主な研究に、生理活性天然物の単離および構造解析に関する研究、代謝酵素制御物質の天然物化学的研究、抗ストレス科学の評価系を用いる機能性物質の探索、などがある。

